



# 災害ボランティア 活動報告書

令和 7 年 牧之原市台風 15 号に伴う竜巻等災害

○活動期間

令和 7 年 9 月 6 日から 12 月 31 日

○活動区域

静岡県中部地区

(牧之原市、焼津市、菊川市)

報告日 1 月 7 日



特定非営利活動法人

FireCrossFunctionalTeam



本事業は公益財団法人

日本財団の助成を受け実施しました！



# 1 活動概要

令和 7 年 9 月 5 日、台風 15 号に伴い牧之原市を中心とした静岡県中部地域で竜巻等の発生により罹災した。

## ○被害状況

・人的被害 負傷者 74 人

・住宅被害 合計 1,044 棟（全壊 63 棟 半壊・一部損壊等 900 棟以上）

その他、インフラでは 10,000 戸で停電、79 本の電柱が倒壊・損傷し復旧まで数日間を要した。また、車両の横転、ビニールハウスの倒壊、樹木のなぎ倒しなど甚大な被害が確認された。

（牧之原市 HP などより）



これを受け、当法人は消防職員が多く在籍している特色を活かし消防職員有志と連携し、また他の団体と連携することで各地区ボランティアセンターの管理下で災害ボランティア活動を実施した。

○活動期間 令和7年9月6日から12月31日

※各ボラセンとの情報共有、ニーズ調査、ボランティアコーディネートなど発災から12月下旬まで現地活動とは別に活動を行った。

○活動延べ日数 23日間（当法人が従事した日数）

○活動延べ人員 150名 うち38名は当法人の会員

## 活動一覧

		活動場所	ニーズ・活動内容	活動時間 (概算)	活動人員 (人)	うち会員 (人)
9月	11日	牧之原市細江	倒木の処理	1日	5	3
	15日	牧之原市内	廃材の除去	1日	15	1
	16日	焼津市下小杉	小屋解体	午前	4	2
	17日	焼津市中新田	ネット除去	午前	4	2
	17日	牧之原市静波	ハウス解体	午後	9	2
	18日	牧之原市内	ハウス解体・危険木の排除	1日	9	2
	19日	焼津市藤守	海岸倒木	午前	5	3
	20日	焼津市坂本	床下乾燥、清掃	午前	2	1
	30日	焼津市下小杉	倒木の処理	午前	7	1
10月	1日	焼津市藤守	海岸倒木	午前	2	2
	2日	藤枝市岡部町	床下清掃	午前	2	1
	3日	焼津市下小杉	倒木の処理	午前	4	2
	6日	焼津市下小杉	倒木の処理	午前	4	3
	9日	菊川市神尾	土砂掻き出し	1日	6	2
	10日	焼津市下小杉	倒木の処理	午前	3	2
	14日	焼津市下小杉	倒木の処理	午前	3	1
	21日	焼津市田尻	倒木の処理	午前	2	1
	22日	焼津市田尻	倒木の処理	午前	3	2
	27日	牧之原市細江	屋根シート養生張り直し	1日	16	1
11月	13日	牧之原市細江	屋根シート養生張り直し	1日	10	1
	29日	牧之原市細江	屋根シート養生張り直し	1日	19	1
12月	19日	牧之原市細江	屋根シート養生張り直し	午前	13	1
	23日	焼津市高新田	危険木の排除	午後	3	1



## 2 活動ダイジェスト

〇9月16日 焼津市下小杉 倒壊した小屋の解体処理



〇9月19日 焼津市藤守 飛来物処理、倒木処理



〇9月20日 床下浸水となった住宅の乾燥後の清掃等





## ○9月30日 焼津市下小杉 倒木の処理



## ○10月3日 焼津市下小杉 倒木の処理



## ○10月6日 焼津市下小杉 倒木の処理





## ○10月10日 焼津市下小杉 倒木の処理



## ○10月14日 焼津市下小杉 倒木の処理



## ○10月21日、22日 焼津市下小杉 倒木の処理





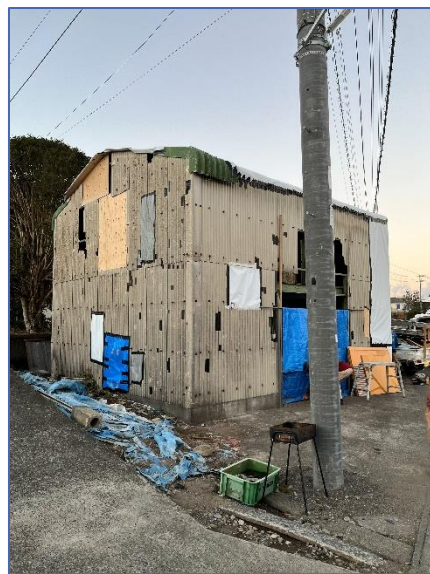
○10月27日 牧之原市細江 屋根シート張り



○11月13日 牧之原市細江 屋根シート張り（補修）

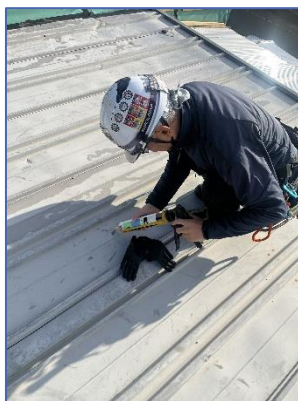


○11月29日 牧之原市細江 屋根シート張り（補修）





○12月19日 牧之原市細江 屋根シート張り等（補修等）



レスキューアシストさんをはじめ

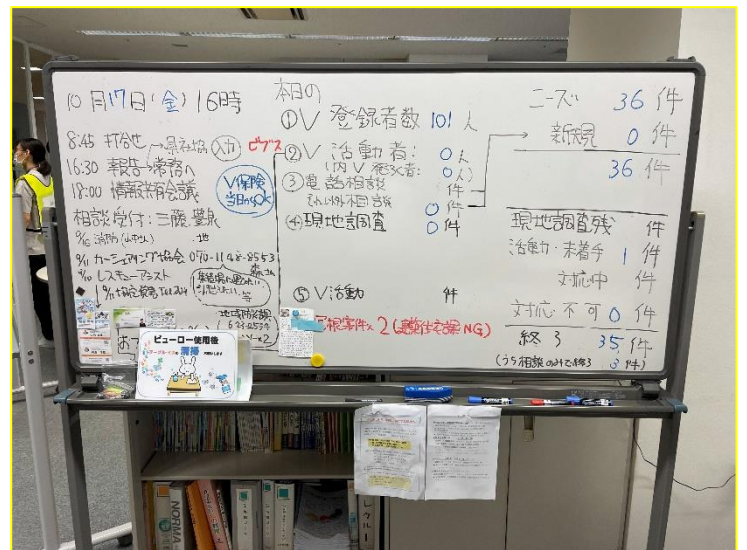
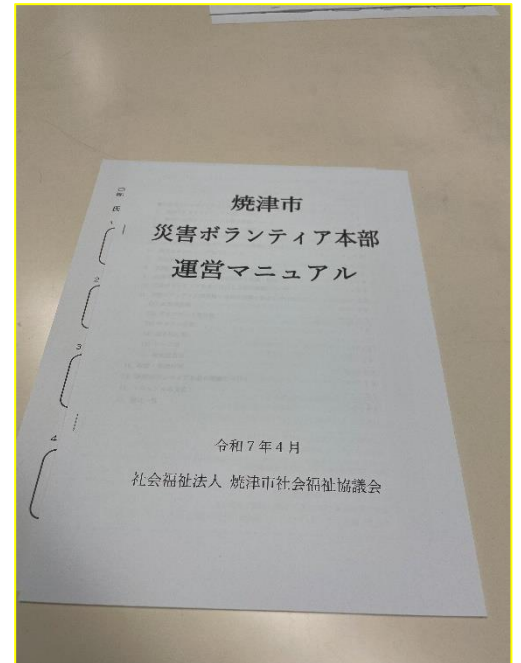
みなさん、大変お世話になりました！





### 3 その他

10月19日 焼津市社会福祉協議会ボランティアセンター本部運営訓練参加





## 4 今後に向けて

今回は当法人初の災害ボランティア活動事業となりました！

発災後、被災状況調査等の機敏な動き出しは良かったものの、ニーズの把握とともに必要な資源となる資器材が不足している課題が浮き彫りになり、公益財団法人 日本財団の助成を受け、順次必要な資器材等を整備することができました！

助成を受け、チェーンソー、チャップス、パワーカッター、バッテリーソース、フルハーネスなど多数の資器材が充実しました。

今後は、これらの資器材に追加し、さらなる充実強化を図るとともに遠方での活動を考慮し、レンタルによる重機、トラックなどの必要車両の手配と継続的かつ持続可能な人員確保などの課題を可能な限り解決し、災害ボランティア活動のさらなる充実強化を図って行きたいと思います！